

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	大垣市立江東幼稚園		
実施期間	平成25年11月13日(水)		
実施概要	祖父母参観(家族参観) —おじいちゃん・おばあちゃんと一緒におもちつきをしたり、大正琴の演奏に合わせて歌ったりすることを楽しもう—		
実施内容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来校者数	保 護 者	20人	計 28人
	地域関係者	8人	
実施状況	祖父母参観(家族参観)の流れと内容		
	<p><b>9:00~10:15 一緒におもちつきをしましょう</b></p> <p>※前日の準備 ・保育室に、シート、段ボール、バスタオルなどを重ねて敷いた上に安全に石臼を置くようにセットする。 ・その周りに家族ごとに座ってもらえるよう、ベンチや園児椅子を並べておく。(危険のないように臼との間隔を空ける。) ・遊戯室には、大正琴を聴く環境作りとして、机を置いたり、観客席用のごさを敷いたりする。</p> <p>・当日は、もちをつく前に石臼に湯を張って臼を温めたり、水を張ったバケツの中に杵を付けて、湿らせておいたりする場面を見せて、もちをつく前には、いろいろな準備が必要であることを知らせるようにした。</p> <p>・機械で蒸し上がったもち米を臼の中に移し替える場面を目の前で見せることで、もち米の状態や香りを見たり感じたりできるようにした。</p> <p>・園児の祖父母の方の中から有志を募って、もちつきや手返し、つけたもちをちぎる役割に参加してもらった。その際は、アルコール消毒してもらった。</p> <p>・つき上がる前に園児にももちをつく体験をさせてもらった。その時には参加の祖父母も一緒に杵を持ってもらうように声をかけた。</p> <p>・つきあがったら、一口大から二口大の大きさにちぎったもちに、黄粉、醤油、あんこ、海苔巻の4種類の味付けをして、園児と祖父母に食べてもらう。その際にもちを食べる前に、一口お茶を飲んでもらうと、もちが喉に詰まりにくくなると声をかけた。</p> <p>・園児は活動の後に給食が控えているので、食べ過ぎないように声をかける一方で、参加者の家族の方にはたっぷり食べていただけるよう、お代わりを勧めた。</p> <p><b>10:30~11:00 大正琴の演奏に合わせて歌を歌いましょう</b></p> <p>☆ 曲目 ☆ ♪冬のメドレー4曲    ♪好きになった人    ♪森のくまさん(掛け合い) ♪南の島のメドレー    ♪手遊び(手話を交えて)    ♪ふるさと(1番は手話、2,3番は歌う)</p> <p>・大正琴を演奏してくださった地域の琴のグループ『琴水会』のリーダーの方の進行により和やかな雰囲気の中で進んでいった。</p> <p>・曲目と歌詞を事前に伺って、歌詞カードを作成しておき参加者お一人ずつに配布した。</p> <p><b>11:00~11:20 家族の方にありがとうタイム</b></p> <p>・事前に秋の自然物(まつぼっくり・どんぐり・ピーナッツ・乾燥とうがらし・千日紅)を使った額をプレゼントとして制作しておいた。</p> <p>・一家族に一作品を感謝の言葉を添えながら手渡ししていった。</p>		

## 成果及び課題

### 成 果

- ・もちつきは、日本古来からの伝統行事であるが、近年は実施するばかりか見る機会も減ってきて、子どもたちには馴染みのない行事になってきている。当園でも何年来と実施していなかったが、今年度は保護者の方や地域の方の協力の下、実施することができたことが嬉しい。「じいちゃんがついてやるう。」ともちをついてくださったり、手返しをしてくださったりする祖父母や家族の姿に感動する姿も見られた。また実際に杵でもちをつく体験もさせてもらえたことが大きいと感じる。
- ・歌においては、琴水会のリーダーの方には、ほぼ月1回のペースで、絵本の読み聞かせや折り紙と一緒に手話を教えてもらっている経験が、手遊びの中の手話や「ふるさと」の1番を手話で歌う時に生かされたと感じる。子どもたちが手話をする姿に目を細めておられる祖父母の姿から、幼稚園教育が子どもたちの成長に関与していることを感じていただけたのではないかなと思う。
- ・子どもたちが作ったお礼の額に、季節の自然物が使われていたことが祖父母の方には懐かしく思えたようで、「どんぐり上手に付けたるなあ」と感激される方もあった。

### 課 題

- ・もちつきが準備の都合で予定よりも若干遅れたこともあって、琴の演奏に間に合うように会場移動する際、子どもたちや祖父母の方を急がせたことから、『もちつき』と『琴演奏に合わせて歌う会』を別日にした方が良かったかと思う一方、まだ働いておられる祖父母の方が多いので、やはり同日に開催して良かったのかと思う部分がある。参加された方からは特にこの件に関して御意見はなかったが、今後実施する際には慎重に検討していきたい。
- ・また、実施後のアンケートから参加祖父母全員がもちをつくと良かったのではないかなという意見が寄せられたので、今後実施の際にはこの点も一考していきたい。